

YAMAHA PortaSound PCS-30

取扱説明書

Playcard System



ごあいさつ

このたびは、ポータサウンドPCS-30をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

PCS-30は、楽器づくりの経験ゆたかなヤマハが、最新の電子技術を駆使してつくりあげた鍵盤楽器です。

ポータサウンドの基本機能に加え、磁気テープを採用したプレイカードシステムによって、手軽にキーボード演奏の独習ができます。さらに、3つの曲が記憶されている自動演奏機能など、コンパクトなボディに数多くの楽しい機能が装備されています。

本書では、PCS-30を充分お楽しみいただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

もくじ

	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称と機能	2
プレイカードでレッスン	
●プレイカードをセット	4
●まず聴くことからくプレイ	4
●自分のテンポでレッスン(フリーテンポ)	5
●その曲本来のテンポでレッスン(メロディーキャンセル)	6
カードにたよらず演奏を	
●好きな音色でメロディー演奏	7
●ドラムを加えてリズムックプレイ	7
●伴奏にも挑戦(オートベースコード)	8
●オートベースコード早見表	9
自動演奏	
●楽譜"ノクターン"	10
●楽譜"時の踊り"	11
●楽譜"シンフォニー40番"	12
付属端子とオプション	13
取扱い上の注意	14
故障と誤まりやすい現象	15
仕様	16
アフターサービスと保証	17

ご使用前に

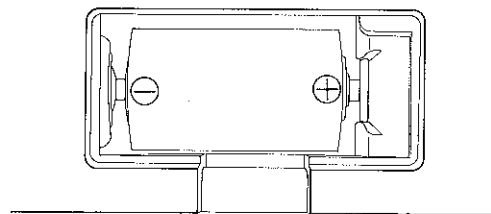
※ご使用にあたっては14ページの「取扱い上の注意」をお読みください。

電源について

PCS-30の電源は、電池と家庭用コンセントの両方を使用することができます。

●電池の入れ方

まず、本体裏面にあるケースのふたをとります。単2の乾電池を一列に6個入れます。このとき、⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。



電源スイッチを入れたとき、右はじのランプが点滅していたら、電池がなくなり始めています。全部新しいものと取りかえてください。

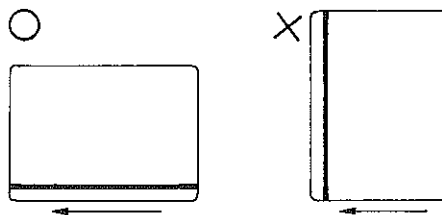
★家庭用コンセントを使用するときは、専用のアダプターを付属端子に接続します。(接続方法については、13ページをご参照ください。)

プレイカードの取扱いについて

PCS-30のプレイカードはいわばレコードと同じ。大切に扱きましょう。

●磁気テープの部分を折ったり、キズつけたりしないでください。

本体にセットするときは、必ず指定された方向に入れてください。まちがって入れると、磁気テープにキズがつくおそれがあります。



●強い磁場に近づけないようにしてください。

スピーカー、アンプ、テレビのそばなど、強く磁気作用しているところに近づけると、磁気テープに記憶されている大切なデータが消えてしまうことがあります。また、磁気ネックレス・リングなどの接触もさけてください。

●磁気テープには、直接指でふれないようにしましょう。

●水やアルコール類がかからないようご注意ください。もしかかった場合は、速かにふきとり乾燥させてからご使用ください。

●汚れが目立つ場合は、清潔でやわらかな布で軽くふきとりましょう。

●シンナーやベンジンなどを含む溶剤を、テープ面には絶対につけないでください。

●高温・多湿のところに保管するのはさけてください。

●長時間、直射日光の当たるところには置かないでください。

●ビニール袋(シートカバー)に入れて保管しましょう。

ホコリなどから守るため、プレイカードを使わないときは、必ずシートカバーに入れるようにしてください。

各部の名称と機能

音色 (7ページ)

⑨ 音色セレクター

リズム (7ページ)

⑤ リズム用音量レバー

⑥ テンポコントロール

⑦ リズムセレクター

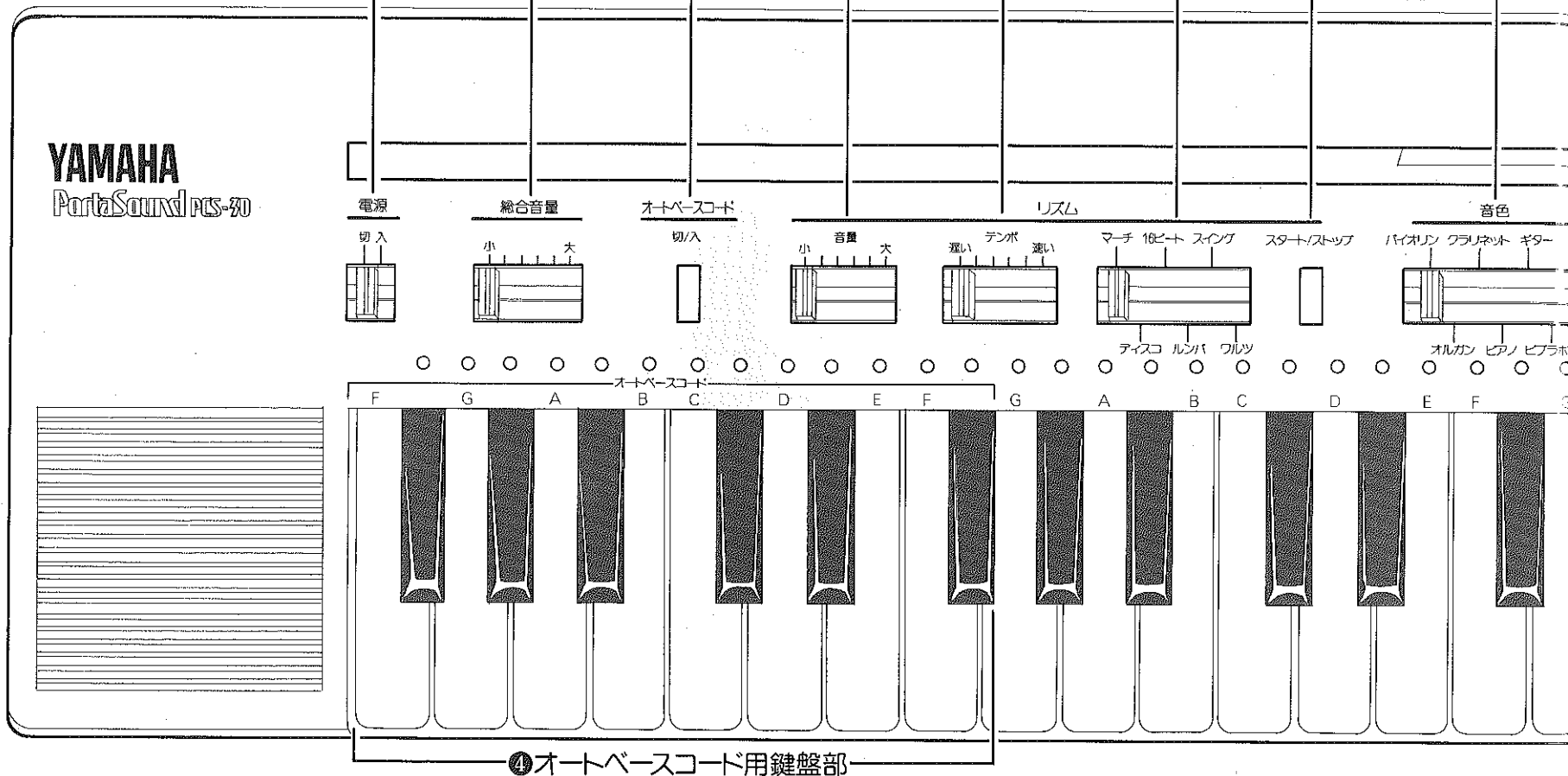
⑧ スタート/ストップ
スイッチ

オートベースコード (8~9ページ)

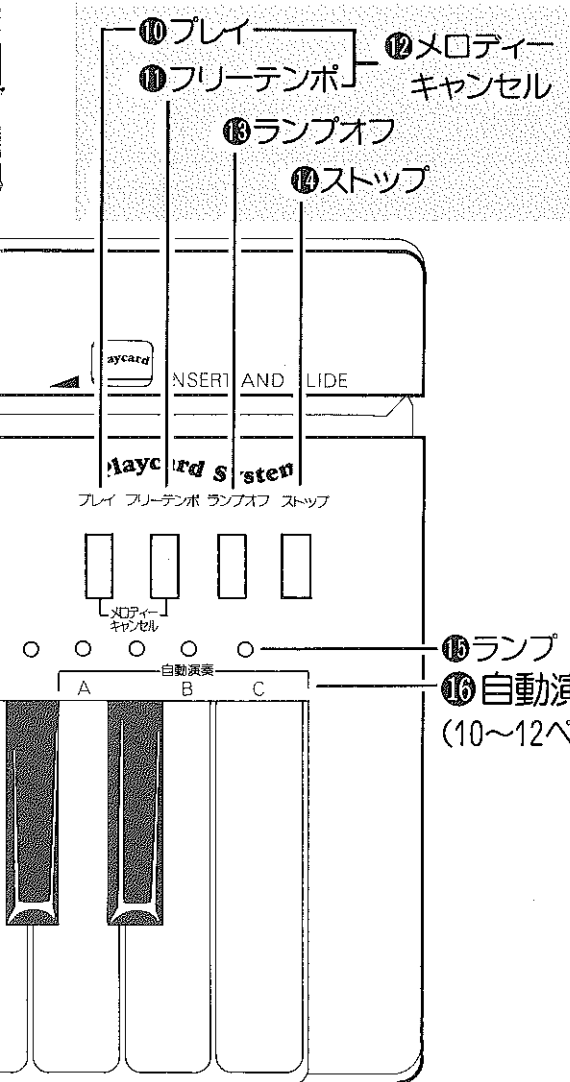
③ オートベースコードスイッチ

② 総合音量レバー

① 電源スイッチ



プレイカードシステム(4~6ページ)



①電源スイッチ

電気が通じるとランプが左から順に点滅し、いちばん右はじ(C5)のランプが点灯します。

②総合音量レバー

全体の音量を調節するレバーです。

③オートベースコードスイッチ

リズムがスタートしている時、このボタンを押すと④オートベースコード用鍵盤を使って、指一本で和音伴奏ができます。

④オートベースコード用鍵盤部

オートベースコードを使って演奏する時、伴奏を受け持つ鍵盤です。

⑤リズム用音量レバー

リズムの音量を調節するレバーです。

⑥テンポコントロール

リズムの速さを調節するレバーです。

⑦リズムセレクター

リズムを選ぶレバーです。

⑧スタート/ストップスイッチ

このボタンを押すとリズムがスタート、もう1度押すと停止します。

⑨音色セレクター

音色を選ぶレバーです。

⑩プレイ

プレイカードによる模範演奏を再生します。

⑪フリーテンポ

⑩プレイの模範演奏からメロディーが消え、かわりにランプがメロディーの位置を示します。ランプの点灯した鍵盤を押すと曲が先にすすみます。

⑫メロディーキャンセル

⑩プレイと⑪フリーテンポの両方を同時に押すと⑩のフリーテンポと同じようにメロディーが消え、ランプが点灯しますが、曲は一定のテンポで先にすすみます。フリーテンポで上達したら使いましょう。

⑬ランプオフ

ランプを消したい時、このボタンを押します。

⑭ストップ

プレイカード演奏を停止します。

⑮ランプ

- ・メロディーの音の位置を示します。
- ・右はじのランプは、電気が通じたことなど他の機能の確認のためにも使われています。

⑯自動演奏

3つの白鍵にそれぞれ1曲ずつ、プレイカードと同じに使える曲が入っています。それぞれの白鍵を押えながら、⑩~⑭のボタンを押します。

プレイカードでレッスン

PGS-30には、プレイカードシステムを使って、ひとりで楽しくキーボード演奏の練習ができるプレイカードLLパックがついています。STEP 1から順に、確実にマスターしながらレッスンをすすめましょう。

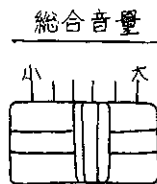
プレイカードをセット

- ①電源スイッチを入れます。

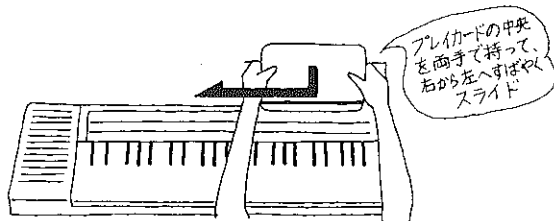


電気が通じると、鍵盤の上のランプが、左から順に点滅し、右はじのランプが点灯します。

- ②総合音量を調節。



- ③プレイカードをカードリーダーに通します。

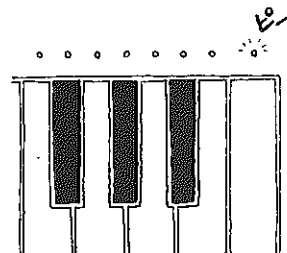


プレイカードをシートカバーから取り出し、磁気テープ

の部分を実用カードリーダーのみぞに対して水平に入れ、右から左へスライドします。

- ④信号音を確認。

カードリーダーがデータを読みとると右はじのインジケータランプが点滅し、「ピー」という信号音が鳴ります。



★両面に磁気テープがあるカードは、両面ともスライドさせます。片面のスライドが終わると信号音が4回鳴りますから、もう一方の面をスライドさせてください。

- ⑤自動的に、カード演奏がスタート。

模範演奏が再生されます。曲を止める時は、ストップを押します。

★一度本体に読みとらせたデータは、次の3つの動作のいずれかを行うまで記憶されています。

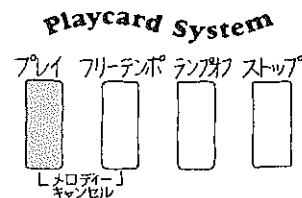
1. 電源を切る。
2. 新しいカードをセットする。
3. 自動演奏を使う。

まず、聴くことから〈プレイ〉

STEP 1のカードをセットしたら、レッスンを始めましょう。

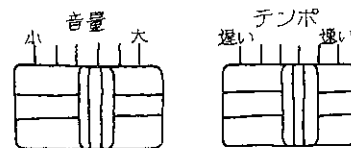
- ①プレイを押して、カード演奏を聴きます。

プレイカードの楽譜をみながら、曲を聴きましょう。手や足でリズムをとったり、ハミングしながら聴くと曲の感じが早くつかめます。



- ②音量とテンポを調節。

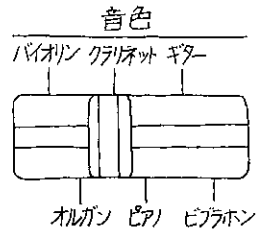
再生されるカード演奏のリズムの音量とテンポは、あらかじめプレイカードに記憶されたものですが、カードをセットした後、テンポコントロールとリズム用音量レバーで好みに調節することができます。



自分のテンポでレッスン〈フリーテンポ〉

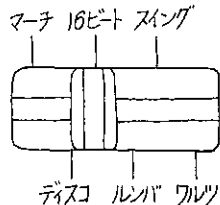
③好みの音色にしてみましょう。

再生されるカード演奏の音色は、あらかじめプレイカードに記憶されたものですが、カードをセットした後、音色セレクターで好みに変えることができます。



④リズムも変えてみましょう。

リズムパターンも自由に変えることができます。プレイカードをセットした後、リズムセレクターで好きなリズムを選びます。(ただし、4拍子の曲にワルツをセットしてもメロディーは4拍子のまま進みます。)

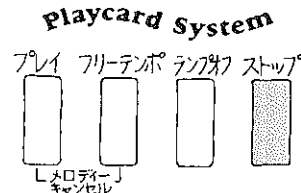


ランプの指示にしたがってメロディーを弾くと、弾く人のテンポに合わせて伴奏がついてくるので、初めての人でも大丈夫。

①まずはカードをセット。(4ページ参照)

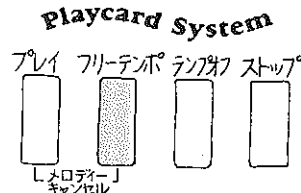
②ストップを押します。

最後まで曲を聴かない時は、ストップを押して曲を止めます。



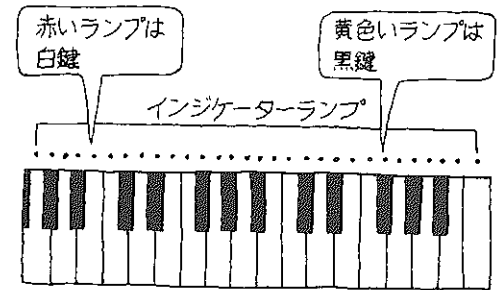
③フリーテンポを押します。

自動的にカード演奏が始まりますが、前奏が終わると曲が止まり、鍵盤のランプがひとつだけ点灯します。



④ランプを追いかけてみましょう。

ランプが点灯している鍵盤を弾いてみてください。曲がすすんで別のランプがつくでしょう?こんなふうになら次々とランプが弾く鍵盤を知らせてくれて、あなたのメロディー演奏に伴奏がついていきます。



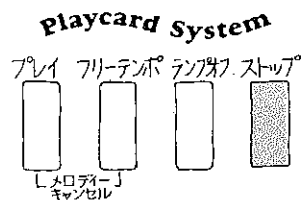
●ランプを追いかける時、ゆっくりでも一定のテンポでリズムをとりながら弾きましょう。そして、だんだんその曲本来のテンポで弾けるようになっていきます。

その曲本来のテンポでレッスン〈メロディーキャンセル〉

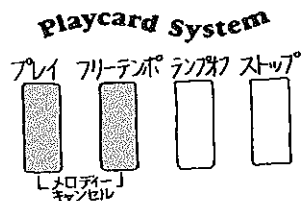
カード演奏からメロディーが消え、テンポはそのままランプがメロディーの位置を指示します。

- ①まずはカードをセット。(4ページ参照)
- ②ストップを押します。

最後まで曲を聴かない時は、ストップを押して曲を止めます。



- ③プレイとフリーテンポの両方を同時に、しっかりと押します。
- 自動的にカード演奏が始まりますが、メロディーは演奏されません。



- ④伴奏とランプに合わせてメロディーを弾きましょう。
- 一定のテンポで、ランプがメロディーの位置を示します。はじめのうちは、テンポコントロールでテンポを遅めにセットして、じっくり練習しましょう。

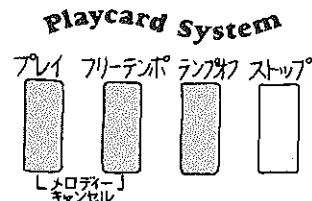
- プレイカードに指示してあるように、指使いをきちんとした方がスムーズに弾けます。
- だんだんテンポを速くして、その曲本来のテンポで弾けるようになるまで、何度もくり返しレッスンしましょう。

ランプから卒業しましょう。

なれてきたら、なるべくランプにたよらずに、楽譜を見ながら弾くようにしましょう。

■ランプ オフ

プレイ、フリーテンポ、ランプオフの3つを同時に押すと、メロディーを示すランプが消え、いちばん右はじ(C5)のランプが1小節単位で点滅してテンポを示します。メロディーキャンセルで上手に弾けるようになったら、ランプを消して、楽譜を見ながら弾きましょう。



★ランプオフは、プレイ、フリーテンポでも使えます。そのいずれかを押すと同時にランプオフを押してください。

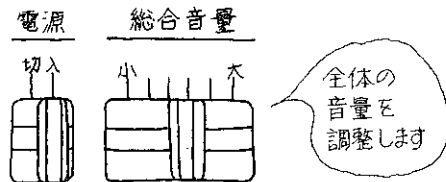
カードにたよらず演奏を

ランプオフで弾けるようになったら、今度はカードなしで弾いてみましょう。自分で伴奏までつけられるようになったら、あなたも一人前のキーボードプレイヤー!!

好きな音色でメロディー演奏

ドラムを加えてリズムミックプレイ

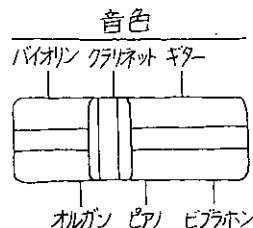
- ①電源スイッチを入れ、総合音量を調節します。



電気が通じると、鍵盤の上のランプが左から順に点滅し、右はじのランプが点灯します。

★右はじのランプが点灯するまで、音はでません。

- ③音色セレクターで好きな音色を選びます。



音色の名まえが書いてある目盛りで、カチッと音がするまでレバーを動かします。

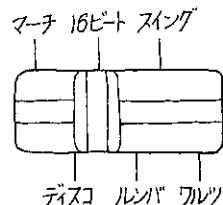
- ④鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ音色がでたでしょう?

それでは、いろいろな音色で弾いてみましょう。

★同時に4音まで鳴らせます。

- ①リズムセレクターで好きなリズムを選びます。



リズムの名まえが書いてある目盛りで、カチッと音がするまでレバーを動かしてください。ワルツは3拍子、その他のリズムは4拍子です。

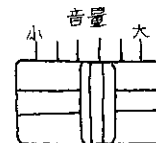
- ②スタート/ストップスイッチを押します。

スタート/ストップ

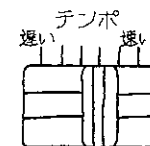


スイッチを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

- ③リズム用音量レバーで音量を調節。



- ④テンポコントロールで速さを調節。



リズムがスタートしているとき、右はじ (Cs) のランプが1小節ごとに点滅します。

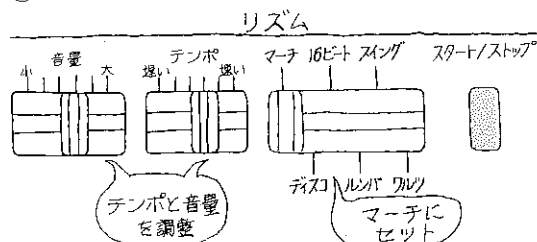
- ⑤リズムに合わせて、メロディーを弾いてみましょう。

リズムを止めたい時は、もう一度スタート/ストップスイッチを押します。

伴奏にも挑戦〈オートベースコード〉

右手のプレイになれてきたら、伴奏の練習もしてみましょう。オートベースコードを使えば指1本でかんたんに和音伴奏がつけられます。それでは、STEP 11 “オペラディ・オペラダ”の楽譜を使ってコード伴奏に挑戦。

①まずはリズムをセット。



スタート/ストップスイッチを押します。

②オートベースコードスイッチを押します。

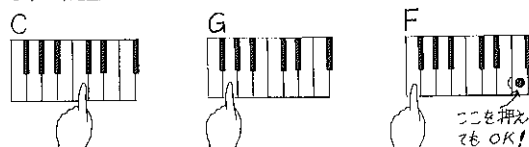
オートベースコード
切入



★リズムをスタートさせないと、オートベースコードのスイッチは入りません。

③オートベースコード用鍵盤を押えます。

この曲に使うコードはC、G、Fの3種類です。下の図のように鍵盤を押えます。

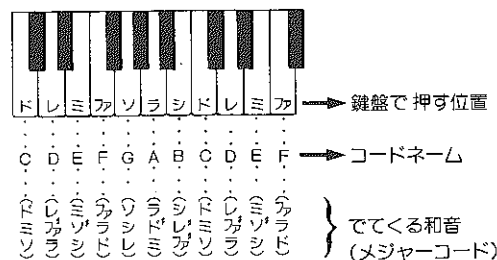


STEP 11の楽譜のC、G、Fの指示に従って鍵盤を押えます。はじめはメロディーを口ずさみながら左手だけでレッスン。なれたら右手でメロディーを弾きましょう。

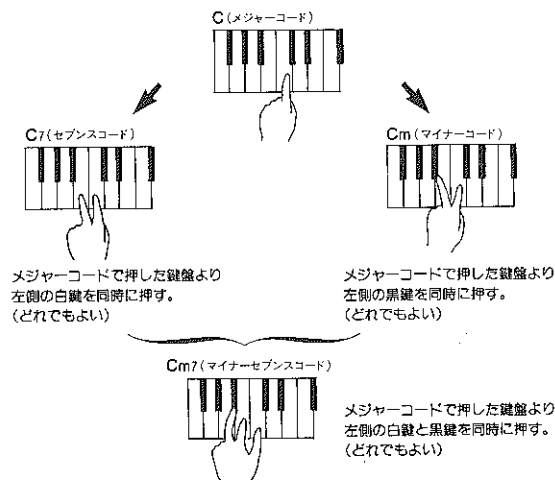
★リズム、オートベースコードは、2小節パターンになっています。リズムをスタートさせたら2小節分待って、演奏をはじめましょう。

シングルフィンガーコードのだし方

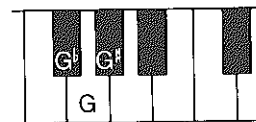
●次の図は、オートベースコード用鍵盤の押える位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



●伴奏はメジャーコードだけに限らず、例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらのコードは、下図のように2つおよび3つの鍵盤を同時におさえることで出すことができます。



●#、bがついていたら、音符についている場合と同じように、半音上げる(#)半音下げる(b)にします。



オートベースコード早見表

メジャー・コード そのコード名のキーを押します。		マイナー・コード そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵を押します。		セブンス・コード そのコード名のキーと、それより低い方の白鍵を押します。		マイナー・セブンス・コード そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵と白鍵を押します。	
C		Cm		C7		Cm7	
C [♯] /D [♯]		C [♯] m/D [♯] m		C [♯] 7/D [♯] 7		C [♯] m7/D [♯] m7	
D		Dm		D7		Dm7	
D [♯] /E [♯]		D [♯] m/E [♯] m		D [♯] 7/E [♯] 7		D [♯] m7/E [♯] m7	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] /G [♯]		F [♯] m/G [♯] m		F [♯] 7/G [♯] 7		F [♯] m7/G [♯] m7	
G		Gm		G7		Gm7	
G [♯] /A [♯]		G [♯] m/A [♯] m		G [♯] 7/A [♯] 7		G [♯] m7/A [♯] m7	
A		Am		A7		Am7	
A [♯] /B [♯]		A [♯] m/B [♯] m		A [♯] 7/B [♯] 7		A [♯] m7/B [♯] m7	
B		Bm		B7		Bm7	

自動演奏

PCS-30には、「ノクターン」「時の踊り」「シンフォニー40番」の3つの曲が記憶されていて、それぞれの白鍵を押えながらプレイを押すと演奏が始まります。また、プレイカードと同じように、フリーテンポ、メロディーキャンセルを使ってメロディー演奏の練習をすることもできます。

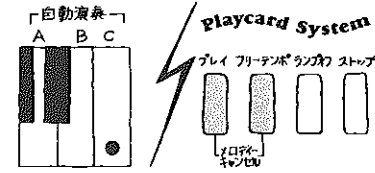
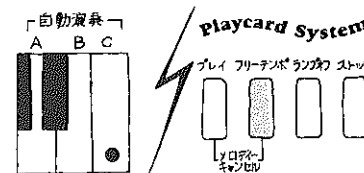
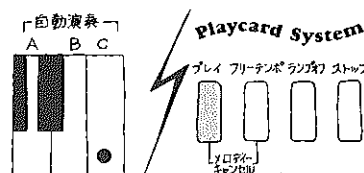
ノクターン

- メロディー音色——ピアノ
- リズム——ワルツ

●白鍵を押えながら、プレイカードシステムのボタンを押します。

聴く時は—〈プレイ〉

自分のテンポでレッスン〈フリーテンポ〉 その曲本来のテンポでレッスン〈メロディーキャンセル〉



♩ = 132
C7

A7 D7 Em Am D7

G C Fm

A7 Dm G7 E7

Am D7 G C

時の踊り

- メロディー音色——クラリネット
- リズム——マーチ

聴く時は—〈プレイ〉

自分のテンポでレッスン〈フリーテンポ〉 その曲本来のテンポでレッスン〈メロディーキャンセル〉

The diagram illustrates the Playcard System with three examples. Each example shows a keyboard icon with sections A, B, and C, and a lightning bolt icon labeled 'Playcard System'. Below the lightning bolt are four vertical bars representing 'プレイ' (Play), 'フリーテンポ' (Free Tempo), 'ランダム' (Random), and 'ストップ' (Stop). The first example is for '聴く時は—〈プレイ〉', the second for '自分のテンポでレッスン〈フリーテンポ〉', and the third for 'その曲本来のテンポでレッスン〈メロディーキャンセル〉'.

♩ = 62

The musical score is written in treble clef with a 3/4 time signature and a tempo of 62. The key signature has one flat (B-flat). The chords and notes are as follows:

- Staff 1: G7, C, Dm, G7, C
- Staff 2: B7, Em, A7, G, D7, G7, C, Dm, G7
- Staff 3: C, E7, F, C, G7, C

シンフォニー40番

- メロディー音色——オルガン
- リズム——ディスコ

聴く時は——プレイ

自分のテンポでレッスン(フリーテンポ) その曲本来のテンポでレッスン(メロディーキャンセル)

♩ = 140
Am

Am E7 Am E7 Am E7 Am Am Am

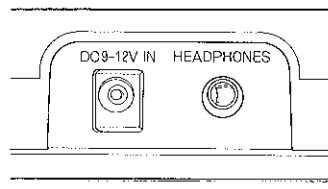
E7 Am E7 Am

Am E7 Am E7 Am

Dm

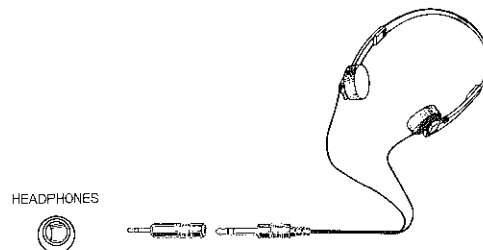
付属端子とオプション

PGS-30の本体左側面には、図のような付属端子がついています。ご活用ください。



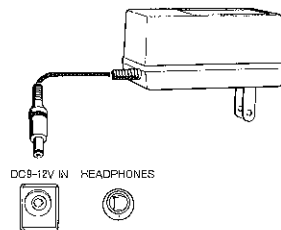
① HEADPHONES 端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



② DC IN(9~12V)端子

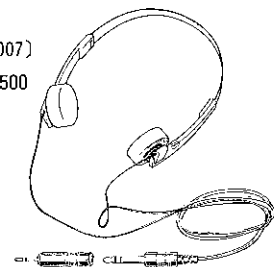
家庭用コンセントから電源をとるときには、この端子を使います。専用のアダプターを接続してください。



オプション(別売)

●ライトウエイトヘッドホン(YHL-007)

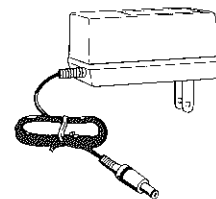
¥5,500



●電源アダプター(PA-1)

AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器です。本体の[DC IN9-12V]へ電源を供給します。

¥2,000



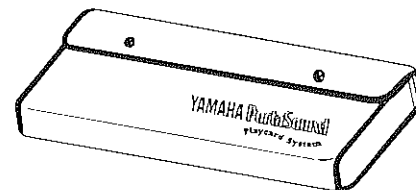
●プレイカード

ポップス、ニューミュージック、歌謡曲などいろいろなジャンルのプレイカードが市販されています。

6枚セット ¥1,200

●専用ソフトケース(SCC-1)

¥2,500

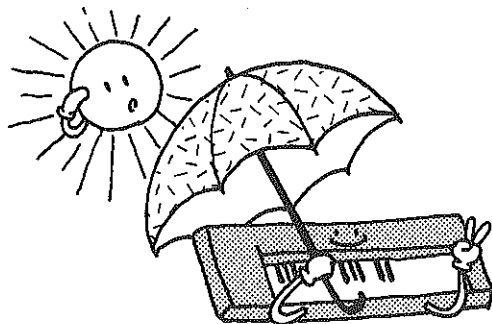


取扱い上の注意

PCS-30をながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

- 電池が消耗すると、雑音を生じたり、誤動作の原因となることがあります。電池を全部新しいものと取りかえてください。カードリーダーや音量レバー、鍵盤などのすきまに、ホコリや異物、特に、ヘアピン、針、硬貨などの金属物が入らないようお気をつけください。異物が入りますと、故障の原因となることがあります。また、ほこりの多い場所での使用もさけてください。
- PCS-30のスピーカーには、磁石を使用していますので、プレイカードやキャッシュカードを近づけすぎないようにしてください。
- ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。電源アダプターの場合も、使わないときは、プラグをぬいておいてください。

- 特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- 強い直射日光に長時間さらすことはさけてください。



- 過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。



- 暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。
- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よごれの日立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



故障と誤まりやすい現象

現象	原因と解決法
音色セクターで選んだ音色が出ない。	リズムとオートベースコードを同時に使うとき、伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色とは関係ありません。
鍵盤を同時に5音押しても4音しか出ない。	鍵盤の音は、同時に最高4音までしか出ないようにになっています。また、オートベースコード使用時はメロディー部で同時に2音までしか出ません。
リズムの音が出ない。	①スタート/ストップスイッチが押れていない。 ②リズム音量が最小になっている。
オートベースコードの音が出ない。 またリズムにのらない。	①オートベースコードスイッチを押していない。 ②リズムをスタートさせていない。また、リズムスタート後にオートベースコードスイッチを押していない。 ③オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ④プレイカード再生中はオートベースコードは使用できません。
音がひずむ。	すべての音量を最大にするとひずむことがあります。
パイロットランプが点滅する。	電池がなくなりかけています。すべて新しい電池と取りかえてください。

●プレイカードシステム、自動演奏を使用する場合

現象	原因と解決法
曲が再生されない。	カードリーダーが、データを完全に読み取っていません。もう一度セットしなおして、インジケータランプの点灯と信号音を確認してください。 また、自動演奏の場合、自動演奏の鍵盤を押える前に、プレイを押している。鍵盤を先に押えてください。
本体でセットした音色やリズムで曲が再生されない。	曲の再生前のリズム、音色は無効です。再生スタート後のみ音色やリズムを変えることができます。
演奏しているとき、鍵盤を同時に2音押しても1音しかでない。	フリーテンポ、またはメロディーキャンセルで演奏しているとき、鍵盤では同時に1音までしかでないようになっていきます。先に押えた1音が優先されます。また、プレイの時、鍵盤から音はでません。
メロディーキャンセルがうまく使えない。	プレイとフリーテンポを同時に押していない。 両方を同時に、しっかりと押えてください。
テンポコントロールを動かしても、テンポが変わらない。	テンポコントロールを1度左右に大きく動かしてからセットしてください。

仕様

■鍵盤

ミニ鍵盤32鍵(F₂~C₅)

■音色

バイオリン
オルガン
クラリネット
ピアノ
ギター
ビブラフォン

■リズム

マーチ
ディスコ
16ビート
ルンバ
スイング
ワルツ

■リズムコントロール

スタート/ストップスイッチ
テンポコントロール
リズム用音量レバー
テンポランプ(C₅ランプ)

■オートベースコード

切/入スイッチ

■プレイカードシステム

プレイ
フリーテンポ
メロディキャンセル
ランプオフ
ストップ
鍵盤インジケータランプ
プレイカード入力ヘッド

■自動演奏

A₄-シンフォニー40番
B₄-時の踊り
C₅-ノクターン

■メインコントロール

電源スイッチ
パイロットランプ(C₅ランプ)
総合音量レバー

■付属端子

HEADPHONES端子
DC IN(9-12V)端子

■メインアンプ

1.4W(6Ω 負荷)

■スピーカー

7.7cm

■定格電源電圧

DC9V : 単2乾電池6個
電源アダプター(PA-1)

■消費電力

電源アダプター使用時 4.5 W
電池使用時 2.0 W
電池寿命 通常演奏で
連続10時間以上

■寸法・外装

間口/487mm
奥行/186mm
高さ/41mm
重量/1.5kg(電池含まず)
本体材質 スチロール樹脂

■付属品

単2乾電池6個
プレイカードLLパック 1セット
(12枚)
クリーニングカード 1枚

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満10年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の10年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網苑お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか?”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けて点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万が一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電音サービスセンター

全国のヤマハ特約店と下記電音サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL(0222)36-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL(0252)43-4321

浜松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL(0534)56-9211

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

日本楽器流通センター TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7

TEL(0878)51-7777 (0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14

TEL(092)472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1

TEL(0534)65-1111

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/ノールビル
TEL.03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館
TEL.06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL.011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル
TEL.0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL.0534(54)4116

